

- 問1 夏に太平洋側から冷たく湿った風が吹いた際、奥羽山脈を境にして宮古市周辺と秋田市周辺で気温に差が生じる理由として最も適切なものを1つ選びなさい。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
1. 風が奥羽山脈を越えて秋田市側へ吹き下りる際に、空気が乾燥して気温が上昇するフェーン現象が起きるため。

2. 太平洋側の宮古市側だけに暖流が流れており、山脈を越えると急激に冷やされるため。

3. 秋田市側には夏の間ずっと強い南風が吹き続けており、奥羽山脈がその風を太平洋側に遮るため。

4. 宮古市側で発生した大量の降水によって熱が奪われ、その冷気が奥羽山脈を越えられずに留まるため。
- 問2 長野県から新幹線を利用して秋田県へ向かう場合、一度関東地方を経由してから北上し、東北地方へと入る経路をとります。このとき、東北地方の中で最初に通過することになる、東北地方の南端に位置する県を選びなさい。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. 岩手県

2. 山形県

3. 福島県

4. 宮城県
- 問3 福島県の沿岸部におけるエネルギー供給の歴史と、社会への影響について述べた文として、背景や因果関係が正しいものはどれですか。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
1. 沿岸部には原子力発電所が立地し、東日本大震災以前は首都圏である関東地方へ多くの電力を供給する重要な拠点となっていた。

2. 2008年から2018年にかけて海面漁業従事者が減少したのは、沿岸部のすべての漁港が火力発電所の建設用地として転用されたためである。

3. 広大な県土を流れる河川を利用した水力発電が主力であり、その電力は主に県内の電気機械工業の工場で消費されている。

4. 東日本大震災の発生により、関東地方への電力供給を維持するために、県内の全域で太陽光発電パネルの設置が法律で義務付けられた。
- 問4 東北地方の南部に位置する福島県は、全部で6つの県と境を接しています。このうち、福島県と同じ東北地方に属しており、かつ福島県と北側で隣接している県の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年 三重県公立入試 類似)
1. 秋田県と山形県

2. 宮城県と岩手県

3. 宮城県と山形県

4. 山形県と新潟県
- 問5 東北地方の太平洋側に位置する岩手県について、その県庁所在地と、県東部の沿岸に広がる複雑に入り組んだ地形の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
1. 盛岡市、カルデラ

2. 仙台市、干拓地

3. 盛岡市、リアス海岸

4. 仙台市、リアス海岸
- 問6 近年、内陸部において高速道路のインターチェンジ付近に「工業団地」が造成され、工場が進出するケースが増えています。その立地理由として最も適切なものはどれですか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. 周辺に大消費地があり、製品を直接消費者に販売しやすいため

2. 古くから豊富な地下資源があり、燃料の調達が容易であるため

3. 原材料の輸入や製品の輸出に便利な、大型船が入る港湾が近いため

4. 高速道路を利用したトラック輸送など、交通の便が良いため
- 問7 夏の時期、東北地方の太平洋側にオホーツク海高気圧から吹き込む、冷たく湿った北東の風を何と呼びますか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
1. フェーン

2. からっ風

3. 季節風 (モンスーン)

4. やませ
- 問8 福島県いわき市の小名浜、岩手県の盛岡、群馬県の前橋、石川県の金沢の四地点における気候を比較したとき、一月の平均気温が約四度と冬でも比較的温暖で、一月の降水量が約五十七ミリメートルと、冬に乾燥する太平洋側の気候の特徴が顕著に表れている都市はどこですか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. 金沢

2. 前橋

3. 盛岡

4. 小名浜
- 問9 ある地域の気候統計において、8月の平均気温が20度強と低く、降水量は台風の影響を受ける9月から10月にかけてピークを迎えるという特徴が見られます。このような気候の特徴を持つ地域と、その気温に影響を与えている要因の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2025年 山口県公立入試 類似)
1. 三陸海岸 ― やませ

2. 小笠原諸島 ― 亜熱帯

3. 北海道中央部 ― 季節風

4. 信州 (長野県) ― 高冷地
- 問10 宮城県の産業構造について述べた文として、製造品出荷額の規模と農業の特色をふまえた、最も適切な説明はどれか。なお、製造品出荷額等は約9兆円、農業では米のほか野菜の生産も盛んなものとします。 (2024年 高知県公立入試 類似)
1. 製造品出荷額等は1兆円を下回るが、果実の産出額が全国トップクラスである。

2. 大規模な工業団地が集積しているが、農業における産出額は果実が野菜を大きく上回っている。

3. 製造品出荷額等は東北最大級であるが、農業は米の単作に特化しており野菜の生産はほとんど行われていない。

4. 東北地方の中でも工業生産が盛んであり、仙台市などの都市向けに野菜を生産する農業も行われている。
- 問11 東北地方北部の地点における農業産出額の割合を調査したところ、果実の占める割合が約28%と、他の地点と比較して顕著に高い数値を示している県があります。この県で行われている農業の特色として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 石川県公立入試 類似)
1. 冷涼な気候を活かしたリンゴなどの生産が盛んで、果樹栽培が地域の重要産業となっている。

2. 大消費地に近い立地を活かして、生乳や肉用牛などの畜産業が産出額の半分以上を占めている。

3. 広大な平野を活用して、大型機械を用いた稲作の単作経営が大規模に行われている。

4. 温暖な気候を利用した野菜の促成栽培が盛んで、冬から春にかけて大都市へ出荷している。
- 問12 東北地方の地域構成について述べた次の文のうち、青森県の特徴として正しいものはどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
1. 東北地方の太平洋側に位置し、気仙沼港などの重要な漁港がある。

2. 東北地方の最北端に位置し、県庁所在地は青森市である。

3. 東北地方の南部に位置し、猪苗代湖などの湖沼がみられる。

4. 東北地方で最も面積が広く、県庁所在地は盛岡市である。
- 問13 東北地方の各県の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。なお、県庁所在地とは、各県の行政の公署が置かれている都市を指します。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
1. 東北地方のすべての県において、県名と県庁所在地名は一致している。

2. 福島県の県庁所在地は郡山市であり、県名と県庁所在地名が異なっている。

3. 宮城県の県庁所在地は宮城市であり、県名と県庁所在地名が一致している。

4. 岩手県の県庁所在地は盛岡市であり、県名と県庁所在地名が異なっている。
- 問14 青森県と秋田県にまたがり、世界最大級の原生的なブナの天然林が分布していることから、1993年に世界自然遺産に登録された山地はどれか。 (2024年 青森県公立入試 類似)
1. 北上高地

2. 白神山地

3. 知床

4. 奥羽山脈

答え合わせ・解説

問1	答え 1 風が奥羽山脈を越えて秋田市側へ吹き下りる際に、空気が乾燥して気温が上昇するフェーン現象が起きるため。	太平洋側から吹く冷たく湿った風は、奥羽山脈を登る際に雨や霧を出して水分を失います。山を越えて秋田市側に吹き下りる時には乾燥した温かい風となり、気温が上昇します。この現象はフェーン現象と呼ばれ、秋田市側の気温が高くなる要因となります。
問2	答え 3 福島県	東北地方は北から青森県、岩手県・秋田県、宮城県・山形県、そして最も南に福島県が位置しています。長野県から東京などの関東地方を経由して新幹線で北上する場合、関東地方（栃木県）と境界を接している福島県が東北地方の玄関口となります。
問3	答え 1 沿岸部には原子力発電所が立地し、東日本大震災以前は首都圏である関東地方へ多くの電力を供給する重要な拠点となっていた。	福島県の太平洋沿岸部（浜通り）には複数の原子力発電所が建設され、主に東京電力の供給区域である関東地方に電力を送っていました。しかし、2011年の東日本大震災に伴う原発事故により、地域の産業や人々の生活、そして日本のエネルギー政策は極めて大きな影響を受けました。統計上、震災以降に海面漁業従事者が減少傾向にあるのも、こうした災害の影響が背景にあります。
問4	答え 3 宮城県と山形県	福島県は東北地方の最南端に位置するため、同じ東北地方の中で境界を接しているのは北側に位置する宮城県と山形県の2県のみです。岩手県や秋田県、青森県とは直接接していません。また、西側で接している新潟県は中部地方に分類されるため、地方区分と県境の位置関係を正確に理解しておく必要があります。
問5	答え 3 盛岡市、リアス海岸	岩手県は東北地方の北東部に位置し、県庁所在地は内陸の盆地に位置する盛岡市です。県の東側は太平洋に面しており、特にその南部は山地が沈水してできた複雑な入り江を持つ「リアス海岸」となっているのが大きな特徴です。仙台市は隣接する宮城県の県庁所在地であるため、混同しないよう注意が必要です。
問6	答え 4 高速道路を利用したトラック輸送など、交通の便が良いため	高速道路の整備により、内陸部からでも空港や大都市圏へ短時間で製品を輸送できるようになったことが主な理由です。特に半導体などの軽量で高価な製品は、船ではなくトラックや飛行機で運ばれることが多いため、港湾よりも高速道路や空港へのアクセスが重視されます。選択肢にある「港湾が近い」というのは、鉄鋼業や石油化学工業などが集まる「臨海工業地帯」の立地理由です。
問7	答え 4 やませ	オホーツク海高気圧から発生する冷涼な空気が、寒流である親潮（千島海流）の上を通ることで、冷たく湿った性質を持って東北地方の太平洋側に流れ込みます。この風は夏の気温上昇を妨げるため、農業に大きな影響を与えます。
問8	答え 4 小名浜	福島県浜通りに位置する小名浜は、東北地方でありながら冬でも一月の平均気温が氷点下にならない温暖な気候が特徴です。これは、付近の海域を流れる暖流の黒潮（日本海流）の影響を強く受けているためです。選択肢のうち、盛岡は緯度が高く内陸のため冬の寒さが厳しく、前橋は内陸部特有の気温差が激しい気候であり、金沢は日本海側の気候に属するため冬の降水量（降雪）が非常に多くなります。
問9	答え 1 三陸海岸 ― やませ	岩手県沿岸部（三陸海岸）の気候データでは、夏に吹く冷涼な「やませ」の影響で8月の気温が他の地域に比べて低くなる傾向が顕著です。また、冬の降水量は日本海側に比べて少なく、秋に降水量のピークがくるという太平洋側の気候の特色も併せ持っています。
問10	答え 4 東北地方の中でも工業生産が盛んであり、仙台市などの都市向けに野菜を生産する農業も行われている。	宮城県は東北地方における工業の中心地であり、製造品出荷額等は約9兆円という高い水準にあります。農業面では、広大な平野を利用した米作りだけでなく、大消費地である仙台市の周辺で野菜を栽培する「近郊農業」が盛んに行われている点が、他の東北各県と比較した際の大きな特徴です。果実の生産が野菜を上回る、あるいは製造品出荷額が1兆円未満であるといった記述は事実と反します。
問11	答え 1 冷涼な気候を活かしたリンゴなどの生産が盛んで、果樹栽培が地域の重要産業となっている。	東北地方北部、特に青森県では、冷涼な気候という自然条件を強みに変え、リンゴを中心とした果樹栽培が極めて盛んです。農業統計において、果実の産出額の割合が約28%に達するというデータは、米の生産（稲作）に特化した「稲作単作」の地域とは異なり、果実が地域の経済を支える極めて重要な役割を担っていることを示しています。
問12	答え 2 東北地方の最北端に位置し、県庁所在地は青森市である。	青森県は本州の最北端、すなわち東北地方の最も北に位置する県です。県庁所在地は県名と同じ青森市です。選択肢にある「面積が最も広い県（岩手県）」「猪苗代湖がある県（福島県）」「気仙沼港がある県（宮城県）」はいずれも東北地方の他の県の特徴を示しています。
問13	答え 4 岩手県の県庁所在地は盛岡市であり、県名と県庁所在地名が異なっている。	岩手県の県庁所在地は「盛岡市」であり、県名とは異なります。同様に宮城県も県名と県庁所在地名（仙台市）が異なります。一方で、福島県の県庁所在地は「福島市」であり、県内最大の人口を抱える郡山市ではありません。このように「県内で最も人口が多い都市」や「有名な都市」が必ずしも県名と同じ県庁所在地であるとは限らない点に注意が必要です。
問14	答え 2 白神山地	1993年に屋久島とともに日本で初めて世界自然遺産に登録された地域である。「青森県と秋田県の県境」という位置と、「ブナの天然林」という植生が最大の判断ポイントとなる。誤答の奥羽山脈は、東北地方の中央を南北に走る日本最長の山脈であり、地理的な位置や特徴が異なるため注意が必要である。